

浜松地域外国人観光客送客事業費補助金の交付に関する細則

(要旨)

- 1 この細則は、浜松地域外国人観光客送客事業費補助金交付要綱（以下、「要綱」という。）第 15 条に基づき 補助金の交付に際して必要な事項について定める。

(補助対象事業)

- 2 要綱第 2 条第 2 項第 1 号に規定する「企業研修や会議等」の解釈については以下の通り取り扱うものとする。
 - (1) 企業や団体が、自らの企画により行う研修、会議、その他事業参加者及びその関係者に限定して行われる行程が主たる目的である事業を、「企業研修や会議等」を目的とする事業とする。
 - (2) 行程のうち、浜松に滞在する時間（宿泊施設滞在、食事及び移動にかかる時間を除く）の 2 分の 1 以上を理事長が認める観光施設等（以下、「観光施設等」という。）における滞中に費やす事業については、「企業研修や会議等」を目的としない事業とみなす。
 - (3) 前号にかかわらず、観光施設等に滞在中に行われる食事については滞在する時間に含まれるものとする。

(浜松市内滞在 2 か所以上にかかる経費)

- 3 要綱第 5 条別表に定める「浜松市内滞在にかかる経費（2 か所以上）」の解釈については以下のとおり取り扱うものとする。
 - (1) 昼食、夕食、観光施設等、観光を目的とした事業の一環として参加者全員で必要となる経費のうち、浜松市内の店舗等で発行された経費の目的が明確な単体の領収書（以下、「対象領収書」という。）が 2 か所分以上あるものを「浜松市内滞在にかかる経費（2 か所以上）」とする。ただし、宿泊にかかる領収書については、夕食等の経費が含まれていることが明確であった場合においても、対象領収書としないものとする。
 - (2) 浜松市内で 2 泊以上する場合、市内滞在期間中の対象領収書が 1 泊毎 2 か所分以上ある場合は、補助対象泊数に応じた加算を行うものとする。

附則

- 1 この細則は、令和 5 年 7 月 1 日から施行する。
- 2 この細則は、令和 5 年 12 月 14 日から施行する。